

## 小麦赤かび病の防除適期

### 【1 成果概要】

- ナンブコムギは開花期の1回防除で効果が得られます(表1, 2, 3)。
- ゆきちから等の赤かび病抵抗性「中」の品種は、開花期と開花7-10日後の2回防除が必要です(表1, 2, 3)。

表1 赤かび抵抗性に応じた小麦奨励品種別の防除適期

品種名	赤かび抵抗性	防除適期		
		開花期(1回目散布)	1回目散布の7~10日後	2回目散布の7~10日後
ナンブコムギ	やや強	必須	状況に応じて追加散布	—
ゆきちから ネバリゴシ ココキコムギ キタカミコムギ	中	必須	必須	状況に応じて追加散布

表2 ナンブコムギにおける散布時期・回数と赤かび病防除効果(2007)

散布時期	散布回数	発病穂率(%)	発病度	DON濃度(ppm)
開花期	1回	1.0	0.10	0.57
開花期 開花10日後	2回	1.0	0.05	0.16
開花期 開花20日後	2回	1.0	0.45	0.12
開花期 開花10日後 開花20日後	3回	0.5	0.03	<0.1
無防除	0回	11.0	6.83	1.89

表3 ゆきちからにおける散布時期・回数と赤かび病防除効果(2007)

散布時期	散布回数	発病穂率(%)	発病度	DON濃度(ppm)
開花期	1回	5.5	3.70	0.83
開花期 開花10日後	2回	2.5	0.28	<0.1
開花期 開花20日後	2回	5.0	2.55	0.40
開花期 開花10日後 開花20日後	3回	2.5	0.25	0.13
無防除	0回	28.0	17.08	4.26

【摘要】

ナンブコムギでは、開花期の1回防除で発病穂率、発病度ともに十分な効果が得られる。

【摘要】

ゆきちからでは、開花期の1回防除では防除価80程度(発病穂率、発病度)であり、効果不十分。  
開花期散布のほかに開花10日後の散布を追加することで十分な効果が得られる。

### 【2 効果】

- 1 高品質な生産物が安定的に出荷可能となります。

### 【3 留意事項】

- 1 開花期以降に曇雨天が続く場合には、ナンブコムギの場合は1回目散布の7~10日後に、ゆきちから等の赤かび病抵抗性「中」の品種は、2回目散布のさらに7~10日後に追加散布を実施してください(表1)。
- 2 同一薬剤の連用又は同系薬剤の連用は、耐性菌の生じる恐れがあるので、防除薬剤の選定にあたっては防除指針を参考に、効果の高い薬剤を輪番で使用してください。